



全農長野県本部情報／グリーン レーダー Vol.470

Contents

A-Policy **重点事業方針**

- 魅力溢れる持続可能な長野県農業を目指して
JA長野県営農センターの役割
- 平成30年度 米穀課事業方針

A-Reports／

- ・平成30年度 長野県青果物・花き取引会議 5
- ・小諸市で東都生協田植え交流会開催 6
- ・「6月は牛乳月間」松本山雅FCホームゲームでPRイベント 6
- ・JAみなみ信州SS 29年度タイヤ販売本数トップレベル 7
- ・協同経営SS 南長野公園前セルフ店
洗車プロショップへのこだわり 7
- ・JA長野県農産物PR協議会通常総会 8
- ・ラグビー国際親善試合で県産農産物を提供 8
- ・御嶽海関が午後5時をお知らせ 8

新採用職員紹介 9

A-Board／

- ・「JA農機&資材フェスタ2018」のご案内 9
- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・7月の動き 10
- ・「長野県長寿食堂」野菜ピュッフェ提供スケジュール 10
- ・7月のラジオ番組表 10
- ・編集後記 10

JA長野県
営農センター魅力溢れる持続可能な長野県農業を目指して
JA長野県営農センターの役割

JA長野県営農センターは、JA長野中央会、JA長野信連、全農長野県本部の共通機構として平成19年に発足し、今年で12年目を迎えました。営農企画、農業振興、担い手支援の3つのグループが、生産者の農業生産を栽培技術や経営面からJAと共に支援しています。

また、農業簿記システム、農業判定システム（安全安心システム）、担い手支援システムなどのハード面からの支援、JA営農技術員の募集および研修会の開催、JAを超えた営農指導員の研修・技術交流による情報交換と技術力向上を図る取り組みを支援しています。

■営農技術員・指導員の研修会

平成28年度より、営農企画グループ内に「営農技術員サポートセンター」を設置し、農業経営基礎研修などの他の研修の事務局機能を集約

し、研修会を開いています。

新任営農技術員を対象とした「営農指導スタートアップ研修」では、年間カリキュラムを組み、のべ79日間に亘り座学16講座と県試験場や農家での実習を受けて農業の基礎を習得すると共に、毒劇物取扱者試験や農業簿記、フォークリフト等の資格取得を目指します。昨年までの2年間で23名が修了し、今年は県内JAから10名の営農技術員が来年1月の終了を目指して受講中です。

生産現場で働いている営農技術員のスキルアップを目的としたボトムアップ研修では、今年度は、農家経営を分析できる技術員の養成に向けて「経営管理講習」を複数回実施する予定です。

■農業生産工程管理（GAP）の推進

JA長野県グループでは、グループを挙げてGAP手法を導入し、安

全・安心な農産物の供給に取り組んでいます。農業生産におけるリスク意識の啓発のため、生産者の自己点検やJAグループ内による点検を実施し、全体のレベルを引き上げてきました。更に今年度は、農林水産省のGAP共通基礎ガイドラインに完全準拠した新「長野県GAP基準」、新「長野県適正農業規範」等を作成してGAP手法を推進しています。

■所得向上に向けた新技術・生産体系の開発・普及の取り組み

「リンゴ高密度わい化栽培」「キャベツの機械化一貫栽培体系の実証試験」「アスパラガスの生産力向上対策」「業務用キュウリの栽培指導」等を中心に取り組んでいます。

リンゴ高密度わい化栽培については、県関係機関、JA（上伊那、みなみ信州、松本ハイランド、あづみ、ながの）、当センターを構成メンバー

として昨年立ち上げた「高密度わい化栽培研究会」による栽培技術の知識習得や現地視察での栽培技術の確認・検証を引き続き行っています。また、栽培面積の拡充に向けてフェザー苗の生産にも力をいれており、苗木の生産・供給をJA出資法人に委託し、29年度は3万本、今年度は

5万本の生産供給に向け準備を進めています。

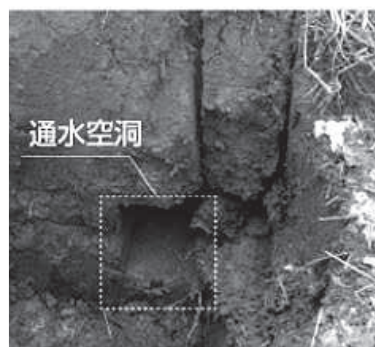
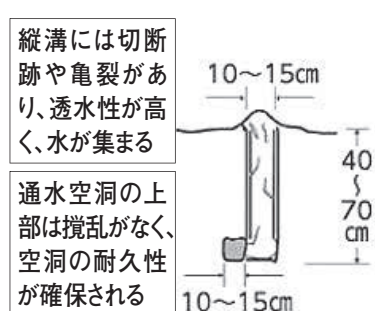
一方、水田転作地として野菜などの作付けが増加傾向にある中、生産安定に向け排水対策が課題となっています。対策として暗渠排水が有効な手法ですが、多くの経費と労力が掛かるため、施工が進まない実態が

あります。そこで、簡易な暗渠排水対策として「穿孔暗渠施工方式（カットドレーン）」による手法と、機械の購入コストを抑えるため当会の農業機械レンタル事業を活用した排水対策の実演を行いながら、啓発活動を進めています。また、キャベツや玉ねぎの機械化一貫栽培体系の実証

試験やスイートコーンの機械収穫試験を、県内の大規模生産法人などと実地利用をしながら本県に合う機械の導入に向けた検討に取り組んでいます。



「カットドレーンmini」の実演



▲カットドレーンの断面



▲穿孔暗渠機「カットドレーン」



営農指導スタートアップ研修 オリエンテーションの様子

■農業法人との関わり

担い手支援グループが事務局の「長野県農業法人協会」は、県内の農業法人組織が自主的に連携し、農業法人の経営確立と健全な発展および地域農業・地域社会の発展に寄与することを目的に、農畜産物を生産する県内の81法人が組織する団体です。協会事業は、情報の収集・提供、一般消費者への情報発信、経営改善に関する研修・相談、地域農業進行に関する要望・提言および日本農業法人協会活動との連携です。



法人協会総会で挨拶をする嶋崎会長

■新たな事業展開への取組み

中央会の組織再編により、今年度より直売所運営・6次産業事業化支援が当センターの所管業務となりました。JA農産物直売所は、農業所得増大や社会地域貢献を目指し、地域住民への地元畜産物の魅力の発信拠点として活動しています。平成25年より「JA長野県農産物直売所ネットワーク」を設置し、共同イベントの開催やJA長野県直売所の認知度向上を図ると共に、直売所員の育成、課題別研修会の開催、県内優良店舗の相互視察、意見交換等により、各直売所の課題改善と直売所全体の運営高度化を支援しています。また、6次産業化支援ではJA農産加工品の安全・安心対策に取り組んでおり、JA製造品をはじめJA生産者組織商品や直売所出荷商品への表示適正化を支援しています。



松川インター直売所「もなりん」

このように当センターは、今後も幅広い事業を通じて、「魅力あふれる持続可能な長野県農業」を目指し、農業生産現場、JAの組合員窓口との接点にも直接出向き、JAと共に取組みを進めます。



JA・コープファーマーズうえだ店 農産物直売所「マルシェ国分」で行った鍋の試食会

米穀課

平成30年度米穀課事業方針

平成30年度の重点推進事項

(1) 30年産米集荷推進

①長野県本部米穀事業基盤強化対策を有効活用し、JA別集荷目標に向けて集荷数量の積み上げを推進します。

②30年産米の系統集荷促進になるよう概算金を設定します。

(2) 30年産米販売推進

①長野米販売計画（78,300トン）に基づく生産誘導および販売を進めます。

②30年産米からの県本部買取米販売の実施による、共同計算との比較検証を行います。

③卸売会社・実需者との連携のもと、事前契約の積み上げと複数年契約（30,000トン）の拡大を進めます。

④卸売会社・実需者との連携強化による新米販売を推進します。また、3月末販売進度50%を目標に早期

販売を進め、販売経費の削減に努めます。

⑤5年目となる「風さやか」については販売推進を図り、酒造好適米については計画生産を進め、日本酒需要拡大を目的とした拡販を図ります。

⑥県内を中心に各種メディア活用やキャンペーンを積極的に展開し、「長野米」の消費宣伝活動に取り組みます。

⑦重点卸売会社と連携し長野米の輸出について拡大します（年度目標300トン）。

(3) 長野米の生産性向上・品質向上・安全安心への取り組み

①関係機関と連携し多収栽培試験を実施し、業務用適性米生産の検証を行います。

②米穀集荷保管施設のHACCP制度化導入に向け、環境美化の取り組みを進めます。

③全農長野農産物検査室での品質調査を実施し、調査結果を有効活用し品質向上につなげます。

④残留農薬・ヒ素・カドミウムの化学分析検査とDNA検査等を行い、安全・安心の検証に引き続き取り組みます。

(4) 農産物検査業務

①基礎講習・鑑定練習・技能確認会の開催を通じ、農産物検査員の技術向上に取り組みます。

②JA長野県農産物検査協議会検査指導者部会員が中心となり、JA検査員への検査技術の指導体制を構築します。

③長野県本部米穀事業基盤強化対策を活用し、農産物検査員の育成と支援を行います。

(5) 麦・大豆・そば・農産物種子

①小麦は「シラネコムギ」「ゆめきらり」の代替品種は慎重に検討を

進め、大麦は「ホワイトファイバー」「シユンライ」の需要に応じた品種誘導を進めます。

②大豆は「ナカセンナリ」を主体とした銘柄検討および品質向上対策を進め、そばは県内の安定取引先への個別推進を図ります。

③主要農作物種子法廃止に伴い、原種センター・県と連携し優良種子供給体制の構築を図ります。



JR 長野駅構内の長野米看板

県産ブランド販売強化へ 主要取引会社と情報交換 平成30年度 長野県青果物・花き取引会議



主催者挨拶をする雨宮会長

全農長野県本部生産販売部は5月31日(木)、長野市内で青果物・花き取引会議を開催しました。県内2社を含む青果・花きの主要卸売会社23社の代表、長野県から阿部守一知事、山本智章農政部長ほか農政関係者、JA側からは全農長野県本部の雨宮勇運営委員会会長、豊田実同副会長、小林哲男県本部長、県内JA組合長・理事長など、総勢86名が出席しました。

この会議は、長野県産ブランドの販売強化による農家手取りの安定化を進めるため、卸売会社との強いパートナーシップを構築し、多様化する需要への対応力を強化することを目的に、出荷が本格化するこの時期に開催しています。

雨宮会長は主催者挨拶の中で「JA全農長野は本年度の売り上げ目標を1,598億円に設定しました。安全安心な信州ブランドの確立と、それに向け

た生産基盤の強化を進め、卸売会社、実需者、JAグループが丸となった計画達成に向け進みたい」と述べました。阿部知事は来賓挨拶で「これからの農業農村が発展するためには、稼げる農業、やりがいのある農業で、消費者と対話し喜んでもらわなければならない。そのためには消費者側に産地の商品、取組み、思いなどがしつかり届かなくてはならず、卸売会社の協力が無くてはならない」と参加した卸売会社へ本県ブランド確立への協力を求めました。

県農政部の山本部長からは、消費者や流通の変化を的確にとらえた農畜産物生産の観点から県農政の展開方向について説明がありました。

全農長野県本部は今年度の取り扱い計画や生産販売の重点方針、生産者の農業所得増大に向け、生産基盤、集出荷体制、販売力(営業力)を強化し、県産農産物の売り場拡大、信州ブランドの信頼強化を図ることなどの方針説明を行いました。

卸売会社からの提言では、東京青果(株)の川田一光社長より「流通の変化に伴う産地対応について、野菜の消費の半分を占める加工品について、現状輸

入品が多く使われている部分へ、契約的取引の意識が高い長野県が入っていくべきではないか」と述べられました。長野県連合青果(株)の堀雄一社長は「長野県には期待されるトップ産地として輝き続けてほしい」とし、「存続と長期安定、そのための人材育成が必要であり、お客様を見て、お客様と話し需要を創出するマーケティングが必要。そして長野県として将来どういう産地を目指すのが重要」と提言されました。

(株)なにわ花いちばの大西進会長は「市場として産地をどう育てるかを常に考えている。お客様が欲しがっているものをどう伝えるかを考え、産地へ提案し取り組んでもらっている。長野県で取組みが進んでいる量販向けコギクが良い例であり、これを武器に他の品目の売り込みもできるため、更なる生産振興を望む」と述べられました。

なお、会議に先立ち本年度の取引が成功するよう、善光寺大本願にて商売繁盛を関係者で祈願しました。

小諸市で東都生協田植え交流会開催

小諸市・JA佐久浅間・東洋ライス(株)・全農長野県本部が連携した取り組みとして定着、

全農長野県本部米穀課は5月26日(土)、小諸市・JA佐久浅間・東洋ライス(株)と連携し、東都生協(本部/東京・世田谷区)の組合員の皆様31名を迎え、小諸市の交流田で「田植え交流会」を開催しました。

東都生協の商品「金芽米長野コシヒカリ」「金芽米長野あきたこまち」は、原料に長野県産米が使用されています。特にJA佐久浅間小諸地域のコシヒカリは、金芽米加工に適した玄米水分値を維持するために、集荷から出荷まで適正に管理され、東洋ライス(株)で金芽米に加工されて東都生協に供給されます。この企画は東都生協の「金芽米の産地で交流会を開催したい」という趣旨の下、毎年約30名が参加し田植えと生産者との交流を楽しむ機会として定着しています。

田植え作業は6、7名のグループに生産者が1名付き、植える深さや間隔を指導しました。多くの参加者が裸足で水田に入り、水の冷たさや泥の感触を楽しみながら、作業に没頭し、およそ2畝の水田は1時間ほどで苗が植えられました。

昼食には、JA佐久浅間のコシヒカリが使用された金芽米おにぎりと長野県産きのこを使ったきのこ汁を提供しました。田植え交流



の締めくくりには、小諸市役所経済部農林課農業ブランド振興係の佐藤工係長が「小諸市はお米だけでなく、ワイン用ブドウや白土馬鈴薯などの農産物があります。ぜひ収穫の時期にまた来てください。稲刈り交流会で再会できることを楽しみにしています」と言葉を添えました。

この交流田では、6月末に「生き物調査」、10月に「稲刈り交流会」が予定され、産地と消費地との交流が、年間を通じて行われます。

「6月は牛乳月間」 松本山雅FCホーム ゲームでPRイベント

全農長野県本部酪農課は6月3日(日)、6月の牛乳月間にあわせ、松本山雅FCホームゲームで牛乳のPRイベントを開き、「松本山雅牛乳」の試飲と、搾乳体験器を使った「乳搾り体験」を行いました。

2014年から販売している松本山雅牛乳は「濃くておいしい」「いつも飲んでい」と、サポーターに浸透しており、用意した1,500杯は1時間半で終了しました。乳搾り体験は子どもに人気で300人が体験し、ミルクノートやミルクメーカーなどの記念品を受け取りました。

牛乳は「熱中症」を防いでくれる強い見方です。暑い夏を牛乳で乗りきりましょう！



牛乳と熱中症予防についての詳細は

ミルク 熱中症

検索

J Aみなみ信州SS 29年度タイヤ販売本数トップレベル

J Xトレディング(株)が企画した「Yes! あんしんカーメンテ2017年間セルフアウトコンテスト」で、J Aみなみ信州全11店舗のタイヤ年間販売合計本数が11,819本という驚異の本数を記録しました。クラス別(燃料油販売数量別)では、1,417店舗がエントリーするCクラスで、カリスタかぎ店が全国堂々1位の2,284本、グリーンパーク桐林店が9位、まつかわ店が13位、カーポートあち店が17位。1,038店がエントリーするDクラスでは、グリーンパーク座光寺店が9位と、多くのSSが上位入賞を果たしました。

J Aみなみ信州の皆様やマネージャー以下SSスタッフが高い目標を掲げ、年間を通して販売意識を高め、一丸となって取り組んだ成果の現れです。また、店頭で組合員様(お客様)とコミュニケーションを図り、信頼関係を構築してきたスタッフ一人ひとりの頑張りと考えられます。

「タイヤのことなら任せてください

い!」私はタイヤのプロです!」自信を持って、組合員様(お客様)と会話をしているスタッフの姿が目に見えます。

命を守る重要なアイテムは、タイヤです。

タイヤを熟知したプロが在席するのが、J Aみなみ信州です。それは、私たちの誇りです。

【Cクラス順位】	単位/本
SS名	実績
カリスたかぎ	2,284
グリーンパーク桐林	1,753
まつかわ	1,644
カーポートあち	1,497
市田	1,292
アイロードあなん	1,170

【Dクラス順位】	単位/本
SS名	実績
グリーンパーク座光寺	1,368
伊賀良	720
鹿塩	20
上久堅	0
平谷	71



全国一位のカリスたかぎSSスタッフ

協同経営SS

南長野公園前セルフ店 洗車プロショップへのこだわり

7月に「南長野公園前セルフ店」に新型ドライブスルー洗車機が導入されます。

導入機は、国内で2番目、長野県では初の洗車機です。特徴は車形認識システム(3Dスキャン)を搭載し、認識した車形データを基にきめ細かくブラシを届かせ、洗い残しを克服する最新鋭機となっております。仕上がりで組合員様(お客様)満足は間違いありません。カラーリングはAC長野パルセイロ仕様を継続し、地域密着型サービスステーションとして長野市を盛り上げます。

4月には「快洗Jr. 200」(強力無比な高圧洗浄機能搭載で頑固についた汚れや雪を落とす)も導入済みで、顧客ニーズに合わせ、手洗い洗車も台数をどんどん伸ばしております。

8月からは、コーティング、手洗い、ドライブスルーと最新洗車を全て兼ね備えた店舗が誕生します。



【店舗情報】
〒381-2221 長野市川中島町御厨2237-1
TEL.026-293-4831
営業時間/7:00~23:00 定休日/なし

ヘッドライトクリーニングやホイールコーティング、艶パックなどのオプションも多数あり、スタッフの「組合員様(お客様)に綺麗なお車に乗っていただく」との思いや、洗車へのこだわりは県内一といえるでしょう。サービスルームの改装、トイレの洋式化も順次行い、国道18号線沿いの激戦区で、組合員様(お客様)に選ばれ、勝ち続けるサービスステーションになります。

準備が整いしだい、大イベントを開きますので、是非足をお運び下さい。

J A長野県 農産物PR協議会 通常総会

J A長野県農産物PR協議会(事務局/全農長野県本部)は6月8日(金)、通常総会を開き、30年度の事業計画を決定しました。昨年に引き続き、J A長野県グループの地産地消事業「新鮮! 信州! キャンペーン」、県の地産地消事業「おいしい信州ふーど」と連携すると共に、J A長野厚生連やJ A長野県信連が主催する県連イベント企画への協力など、新たな活動を展開します。

同協議会の小澤卓夫会長(全農長野県本部生産販売部長)は開会に先立ち、「ネット通販やドラッグストアの伸張、店舗売上の上位3社をコンビニエンスストアが占め、買い方・売り方が変わってきている。農産物をどこでどうPRするのか、アイデアを絞ることが必要」と挨拶しました。

30年度は、食育・地産地消活動として大学生協での「食育ランチ」や幼稚園での「食育」、また「農林水産祭・実りのフェスティバル」「ふるさとの食につばんの食」へのイベント出展を予定しています。

ラグビー 国際親善試合で 県産農産物を提供

J A長野県農産物PR協議会は、6月2日(土)に長野市で開催されたラグビー国際親善試合(イタリア選抜VSヤマハ発動機ジュビロ)に県産農産物を提供しました。

開会式での歓迎の花束はシャクヤクとトルコギキョウ、試合後に各チームから一人が選ばれた最優秀選手賞の副賞として、長野県オリジナル米「風さやか」とサクランボ、イタリア選手にはリンゴジュースとブルーんジュース、日本選手にはレタスとぶなしめじが、プレゼンターの箱山愛香さん(シンクロナイズドスイミング元日本代表)から手渡されました。



箱山さんから花束を受け取ったレオナルド・ギラルディーニ選手(左)と堀江恭佑選手(右)

御嶽海関が 午後5時を お知らせ

7月より、SBCラジオの時報で、御嶽海関が旬の農畜産物と共に午後5時をお知らせします。放送は毎週月曜日(初回7月2日)。お聴き逃しなく!



7月の動き▶

総務広報課	7/29(日)	松山山雅FCホームゲームイベント アルウィン（松本市）
生産販売部	7/11(水)～ 12(木)	「旅館大学セミナー」協賛 （夕食バイキングに食材を提供し、県産 青果物をPR） ホテル翔峰（松本市）
	7/28(土)～ 8/5(日)	「信州旬菜フェア」協賛 （県産野菜・きのこ・果実の朝食バイキ ング） ホテル翔峰（松本市）
野菜花き課	実施中～ 8/9(木)	信州春野菜でらくらくレシピ キャンペーン
農業機械課	7/20(金) ～21(土)	JA農機&資材フェスタ2018 エムウェーブ（長野市）
南信事業所 生産販売課	7/27(金) ～28(土)	2018なんしんフラワーフェア JAみなみ信州本所 「みなみちゃんホール」（飯田市）

MIDORI長野3階 「長野県長寿食堂」野菜ビュッフェ提供スケジュール（生産販売部） 長野県の健康食を一汁三菜の定食で食べられる食堂。野菜ビュッフェ に県産農産物を提供しています。	
7/14(土)～16(月・祝)	ズッキーニ、セルリー
7/27(金)～29(日)	スイカ

※都合により実施日・品目が変更になる場合があります。

7月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容（予定）
7/3(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳セミナーの様子
7/5(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	プラム（JAながの・みゆきブロック）
7/10(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳セミナーの様子
7/12(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	ブルーベリー（JA上伊那）
7/17(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	乳和食レシピ紹介
7/19(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	ズッキーニ（JAながの・みゆきブロック）
7/24(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	牛乳クイズ
7/26(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」	スイカ（JA松本ハイランド）
7/31(火) 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	料理コンクール実演審査・表彰の様子

（K）
できる備えや危険な場所
の確認などは、出来るだけ
しておきたいなと思います。

むずかしい。

しょうとありました（が中々
ク塀などには気をつけま
ロも必要と。野外ではプロッ
常食に加えて簡易ガスコン
要だなと思いましたし、非
特に家具・本棚の固定は必
道されています。屋内では、

ればと思います。

今回の地震では「家庭で
普段から出来る・しておき
たい心掛け」もいろいろ報
道されています。屋内では、
前から言われていますし、
大地震も想定しておかなけ
ばと思います。

編集後記

大阪北部で6月18日朝、

JA全農長野の事業現況▶

平成30年度5月末部門別実績表 (単位:百万円,%)

部門	区分	実 績	計画比	前年比
米	穀	2,900	106	108
果	実	330	124	106
野 菜 花 き		4,237	94	109
野菜種苗センター		62	109	105
きのこ		2,098	81	85
営 業		979	89	101
生産販売部計		10,606	94	102
包装資材		855	99	96
生産資材		3,200	116	106
農業機械		1,482	121	96
施設住宅		623	140	48
生産購買部計		6,160	117	91
畜 産		2,183	107	90
三 岳 牧 場		54	110	90
SPF繁殖センター		53	108	128
酪 農		2,755	109	98
ハ ケ 岳 牧 場		41	79	85
畜産酪農部計		5,085	108	95
燃料・ホームエネルギー		4,111	119	106
S S 協 同 経 営		1,987	115	106
生 活		2,096	98	92
生活部計		8,194	112	102
長野県本部計		30,045	105	98

(内部販売高含む)

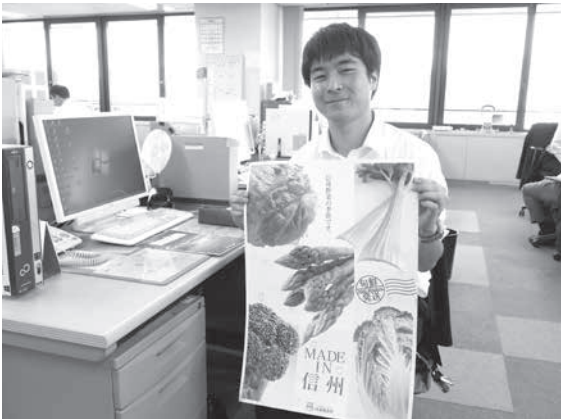
新採用職員紹介

【生活部 燃料・ホームエネルギー課 瀬下 和輝】
はじめまして。燃料・ホームエネルギー課の瀬下和輝と申します。出身は千曲市です。LPガスの保安業務を担当させていただいております。慣れないLPガスに携わる業務ということで、毎日が勉強の日々ですが、一日でも早く一人前の職員になれるように切磋琢磨して努力したいと思っています。よろしくお願いします。



LPガス猛勉強中です！

【生産販売部 野菜花き課 関 翔之輔】
はじめまして。野菜花き課の関翔之輔と申します。出身は長野市で、特技は中国語です。大学時代に中国に留学した際、日本農産物の品質の高さと美味しさを実感し、より多くの方にその素晴らしさを発信したいと考え、本会に入会しました。たくさんの経験を積んで、一日でも早く一人前の職員になれるよう頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



信州野菜をもりもり食べて、夏を乗りきります！

A-Board

「JA農機&資材フェスタ2018」のご案内

7月20日(金)～21日(土)の2日間、
長野市エムウェーブで
「JA農機&資材フェスタ2018」を開催します。
農機メーカー、生産資材メーカーなど
50社以上のご協力をいただき、
農業機械の展示はもちろん、
肥料、農薬、農業資材まで最新情報をお届けします。

<注目ポイント>

- ・普段は見ることが出来ない大型農機から中小型農機まで、会場いっぱい勢揃い
- ・JAグループで取り組んでいる「機能を厳選した60PSクラスの共同購入トラクター」の製品説明
- ・生産資材コーナーも充実

皆様のご来場をお待ちしています!!



- 日 時 平成30年7月20日(金) AM9:00～PM4:00
7月21日(土) AM9:00～PM3:00
- 会 場 長野市オリンピック記念アリーナ エムウェーブ
(長野市大字北長池195)
- 主 催 長野県農協生産資材事業推進協議会
- イベントステージ(両日正午開始)
1日目/パラレルドリーム 2日目/信州プロレス
- 入場料 無料

※裏表紙もご覧ください。

22nd JA農機資材フェスタ2018

どなたでも
入場無料!!

7月 **20日** 金
AM9:00~PM4:00

7月 **21日** 土
AM9:00~PM3:00

JAから発信

~未来につながる
豊かな実りの応援団~

開催場所
エムウェーブ
(長野市オリンピック記念アリーナ)



駐車場入口(南ゲート)▲※地下駐車場をご利用ください。

来場者 **5,000名以上**

農業機械展示数 **2,000台以上**

農業機械・生産資材メーカー **50社以上が**

エムウェーブに **大集合!**

年に一度の **ビッグイベント!!**

**ご来場者
プレゼント**
当日ご来場のお客様に記念品を
プレゼント(数量限定)

**ご成約
プレゼント**
当日5万円以上ご成約のお客様に
記念品を進呈します。

●主 催 長野県農協生産資材事業推進協議会
●後 援 長野県・JA全農長野

信州 光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA全農長野ホームページ <http://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JAタウン」 <http://www.ja-town.com>

